

札幌研究農場に実習して

山形県最上中部地区利用牧場

実習生 阿部 誠

昭和49年8月1日、東北地方は記録的な豪雨にみまわれ、私の市である新庄市もかなりの被害を受け、修復工事も最中の5日、心の痛むおもいで実習に出ました。

当地域の農業は下に記しました図より明らかなように、零細規模の水稲中心地帯であり、農家経営の自立、安定化を図るために従来の米作依存から脱却し、自然的立地条件を高度に生かした生産性の高い畜産経営を取り入れた「米+畜産」の方向が必要とされ、そんな現況の中に『最上中部牧場』が設置されるようになりました。

経営農用地

区分	耕地	草地	その他	合計
現在	1.86ha	0.42ha	1.72ha	4.00ha
計画	1.86	2.00	0.14	4.00

家畜数

種類	成牛	育成	合計
乳用牛	1.5頭	0.7頭	2.2頭
乳用牛	6.4	2.5	8.9

(昭和45年現在における実態と経営改善計画)

牛に関する知識を持ち合わせていなかったせいかな、初めての北海道の為か私の気持ちは恥ずかしながら、不安と期待との入り混った複雑でなんとも言えないものでした。津軽の海は暗く、遠くにイカ釣り船の漁火が、少々早いお盆のような雰囲気をかもし出し、沈んでいた私の気持ちをどんなにか慰めてくれた事でしょう。

札幌駅はあいにく強い雨が降りしきっていましたが、朝の牛舎当番の人が出迎えに来て下さっていました。涼しそうな木立ちの中に、いかにも北

海道らしい造りの大きな牛舎と、長い歴史のあるような建物(寮)が構える目的地に到着した時、さっそく井で搾りたての熱い牛乳をご馳走になったのは忘れられません。

相手の名前と顔とが仲々一致せず、コトバには訛りがあり、声をかけるには勇気の必要だった最初の頃、野球大会と一緒に参加させていただいたり、厚別町の町民運動会に参加したり、皆さんには本当に気を配っていただきました。又、そんな行事のあるたびに冷たいビールでジンギスカンを食べた事、これは何んと言っても最高のおもいとなっています。クリスマスには手作りのケーキと皆んなで飾ったツリー。クリスマスキャロルがフォークソングになり、流行歌になり、そして艶歌に――。ほんとに健康的で若い仲間達。すばらしい人達とめぐり会えたと思っています。そんな皆さんに囲まれて実習生活は、本当に有意義な価値のあるものになりました。

北海道に到着してもっとも驚いたのは、何と言っても広大な面積と土地利用のあり方です。私共の郷里では稲作に於いて反収600kgあげるに必要な技術を身につけるために、農村にはいろんなグループが結成され、農業改良普及員などを招き頑張っていますが、私の目に入った北海道に於ける土地利用は、うらやましい気持ちと残念な気持ちを湧き起こさせました。いかに米作調整中といえ平らな畑を5haも荒し、野草を繁茂させるのですから驚かずにいられません。

夕張郡長沼町の分場での実習で、佐藤さん方のエン麦は3.8haの青田買いで10万円程度であったかと記憶しています。本当に位の誤りではないかと疑わずにはいられません。私のような山合いの小さな部落に育ち、わずかばかりの田畑を耕し、家族全員が細々と生活してきた人間にとって仲々割り切れないものが残ってしまう。農家の実態も外から見るより楽でないようでした。米や牛乳のように価格統一されたものを作っている農家はいくらか安定しているかと思われませんが、その他の作物と言う事になりますと相場価格となり経営の計画性を欠くことになるのでしょうか。個人の農家でも大きな面積のため、幾百万もする大型機械の使用が見うけられましたが、その返済も大変

な事と思います。

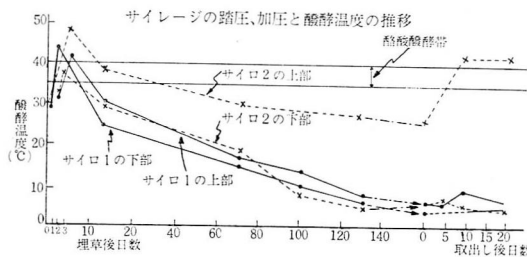
親父さんのあまりの借金の為、農業にいや気をさし、乗り手のなくなったトラクターを私は見た。しかし又反面、大型農業機械の共同利用もかなり進んでおり、その運営内容もかなりスムーズに、かつ高度利用な面も見られました。天候に左右され易い農業という、ややもすると利己的になりがちな中で、皆がそれぞれ協力し合い、利用している様子は私の目には美しいものとして残った。

この農場は、酪農の基盤である草の品種改良に専念している場所であり、飼料給与量と動物の増体量や乳量との関係も正確に調査しておられましたので、無知と変らなかった私には基本から覚えるにふさわしい最適の場であったように思います。

草種と品種のさまざまな名称、特性を覚えるに苦労していた時、仕事が終わってからいつも一緒になって、押し葉標本作成に手伝って下さった皆さん——。こまごまとした相違点をプリントして下さったり本当にありがとうございました。

毎日の仕事の中で感じた点をいくつかあげてみたいと思います。

最初の仕事で印象的だったのは、長沼分場に於ける新築サイロの床掘り作業ですけれども、基礎工事から完成するまでの過程で注意すべき点、また詰め込み時の注意点、そして利用というふうに、一連して観察できたのは幸いだったと思います。ただちょっと残念だったのは、踏み込みが足りなかった為か上部に腐敗気味のサイレージも少々できてしまいました。しかし襟裳で見たバンカーサイロのその量とは比較にならない少量程度のものでしかなかったため、あとになって考えてみますと最低限度のロスであったのかも知れません。



(備考) ①サイロ～1は踏圧して加圧を普通に行なったもの。

②サイロ～2は無踏圧で加圧は倍圧したもの。

初めて本格的に牛の世話をするようになって、私の家で肥育牛を飼っていた頃を振り返って比較してみると、濃厚飼料の給与量、疾病関係、飼料の昂騰による酪農の危機状態等、その他いろいろ関係することにプロ意識を持って注意していかなければと思います。

札幌研究農場では毎日、搾乳牛の管理が主なる仕事でありましたので、松原先生の指導を受けて搾乳牛28頭について飼料給与量計算と、それに基づく飼育管理を任せていただき実行してみました。泌乳量の伸びはそんなに変化なく、逆にある2～3頭の牛に関しては2週間位のあいだ落ち込むという結果になってしまいました。

牛による個体差を考慮して、管理者が適切で柔軟性のある給与方法をとることが泌乳量の増大には、不可欠であると強く反省しました。

下に掲げる表はその時の給与基礎飼料の量と養分値で、これに乳量に応じた配合飼料を与えています。

	その量	分析表より		給与栄養	
		DCP	TDN	DCP	TDN
デントコーンサイレージ	20kg	0.7	12.1	0.14	2.42
乾牧草	6	6.3	50.7	0.378	3.042
ビート	20	0.8	11.8	0.16	2.36
合計	46	/	/	0.678	7.822

この飼料計算に関する試験は、実習生活の最後に行なったものですから、途中で帰ることになり、長期にわたる泌乳量の変化を観察できなかったことは心残りがしています。その後、どうなったでしょうか。

札幌研究農場より紹介された、日進共同利用模範牧場と襟裳肉牛牧場に実習して感じた点をいくつかあげてみたいと思います。

10月15日より10月31日までの半月間、今金町の農協が経営する大規模牧場にて実習生活を送った。職員6名、オペレーター7名の人達で牛550頭程と700ha程の草地を管理している所であり、朝7時より夕方6時までの長い労働時間の中で、私の着いたその日は、場長みずからトラクターに跨がり、サイレージ作りに頑張っておられました。昼飯時でなかったら事務所はいつも留守で、場長も係長も皆さん平等に牛糞にまみれ、肉体労働に

忙しい牧場であります。私のいるあいだだけでも熊が4回程近くに出現し、銃はいつも事務所に置いてあると言える程、山の中の牧場でもあります。

この牧場は酪農家からの若牛を春より秋までの放牧期間中に育成し、受精して帰すという仕事が主なる目的の牧場であり、その他、搾乳牛100頭以上の管理を容易にするミルクパーラーなどのような近代的設備の完備した、機械化牧場と言っても過言ではないと思います。

それぞれの牛に与えている飼料の量と種類は下記の通りでありました。

- 1 哺育牛及び仔牛の場合
 - 24時間自動哺乳機械による給与
 - ペレット食べ放題
- 2 育成若牛の場合
 - グラスサイレージ食べ放題
 - フスマ 2 kg
 - 若牛配合飼料 2 kg
 - 乾牧草 自由採食
(育成若牛にしては濃厚飼料の給与量が多過ぎると思う)
- 3 搾乳牛の場合
 - グラスサイレージ食べ放題
 - 配合飼料 4 kg
 - 乾牧草 自由採食
- 4 放牧牛の場合
 - 豊富な草と岩塩だけ。

大型機械の設備はさすがに優れていると思います。

- 三菱フソウの荷台をそっくりはずしワゴンにも利用できるように改造している。
- 作業能率の優秀なヘイバイン
- 自動給餌機
- ミルキングパーラーの設備
- 哺育牛舎の瞬間完全自動消毒機械

以上の他にもすばらしい設備、機械もありましたが、注意すべき点は、自分達の毎日の仕事を通して、便利な方向に改造したり考え出したものが多かった事です。

私なりにみて失敗ではないかと思われた点を振り返ってみますと、

- 1 牛の頭数に対して尿溜めが小さ過ぎた。

- 2 故障の多かったアンローダー。
- 3 フリーストール方式であるため乳量がどうしても伸びない。年間100頭で300tと云っておられました。
- 4 人員不足の為、牛の手入れはまったく行なわれていない。
- 5 開拓者の草地をそのまま利用しているので、かなり古い草地もみられました。(草種も単一化しつつあり野草の侵入もみられる)

総合的に、私達の現在の計画に類似した大規模牧場を実習させていただき、比較対照し参考するにいろんな面で有意義であったと感謝しております。

襟裳肉牛牧場は、1000 haの草地と800頭のアンガス種及びヘレフォード種を誇る北海道農業開発公社の経営する繁殖専門牧場であり、私の実習期間は2月15日より3月5日までという厳寒の時に、分娩の最盛期でもありました。

生まれる仔牛の体重はホルスタインより軽く、25kg~40kg位ですが、死亡率は8%と高い数値でした。牛の管理は全てルーズバーン方式を取り、バンカーサイロを利用しており省力化を考えて設計されていますので5人程度の管理人で充分800頭を見廻れると説明されたのには、最初驚かされました。

この牧場を実習してみて、それまでの私の牛に対する考え方を是正しようとしたものが一つあります。それはルーズバーン方式であるため、吹雪の日でも屋外に出ているんですが、牛は雪だるまのようになり、よだれが30cm位伸びても大丈夫だと言われた事です。そのような雪の中で分娩をしているのですから、それまで麻布にて保護したホルスタイン仔牛の管理しか知らなかった私には驚きの連続でした。

現在、酪農家の戸数は減少の方向にありますが、これは濃厚飼料の昂騰、牛肉の価格不安定、安い乳価等々のように、政府の農業政策全般に亘る安易な考え方からの現われと、断言できると思います。国際関係を維持して行くため、輸出入の難しい問題もあるかと察しますが、オーストラリアからの多量の牛肉輸入は、国内の酪農家の経営を圧迫し、前途を暗くしています。

酪農を望んでいる若者はたくさん居ますが、このように政策が不安定である上に、どんな計算方法をとっても、割りの合わないことが解り切っている現在、手の出せない状態であると言うことです。何軒かの酪農家を見学させていただきましたが、新しい牛舎及び設備等の完備した牧場程、外から見たのどかな風景とは逆に、内部は嵐が吹きあれているようでした。

又、道内の肉用牛飼養頭数は49年2月1日現在に於いて121,300頭で48年同期よりも56.2%も増えており、酪農家が搾乳牛と併せて肉用牛を飼養するケースも目立っている。ところが肥育用素(もと)牛とオス仔牛の暴落は飼育農家に大きな打撃を与えた為、借金の利子補給を要望した。このため道は、飼養農家が経営安定のため農協などから借りる資金のうち1戸当たり1,000万円以内について50年3月から5年間にわたって年間5.5%を利子補給することになった。私たちの最上中部牧場に於いても、肉牛肥育が主体であり、預託牛を管理する仕事になりますが、このように肉牛の値の安い中で、農家にも利益があり牧場に

も損失の及ぼさないようにと考えると、肉牛の価格安定制度はできたとは言え、そこにはどのような妙案があるのでしょうか。

最後に、北海道の景色のすばらしさは私の知っている範囲では類もない程であります。この農場に於いても、コントリーに吊してある試験用のとうもろこしを食べにリスがやって来て、人間に追われては白樺の木の上に逃げ登った。秋も深まり木々が裸になっているので下からリスの姿がよく見えるのである。落葉の中のそんな情景は、私の心をどんなにか楽しませてくれたことか。

蘭越町の草地造成した高台にある牧場からのブルーの日本海を見降ろす景観も焼きついて離れない。初雪の降った11月1日私は函館にて、タワーより眼下の雪化粧した五稜郭を見ることができた。美を超越したそのコントラストに私は身が引きしめる思いで見入っていた。8ヵ月の実のある北海道での実習であったと共に、北海道の観光地は最高であることをもこの間に体得させていただいた。

— 芝 草 の 混 播 例 —

1) ベントグラス内の混播 (比率は種子重量比)	4) 寒冷型各草種間の混播		
ゴルフ場フェ アウェー・野 球場・競技場	庭園・公園	不良土壌 不良条件地	レッドトップ 20% カナダブルー 20% フィルクキング 30% ジェームスタウン 30%
ハイランド 60% エメラルド 40%	フィルクキング 60% ペンローン 20% ハイライト 20%		
高級庭園	学校・グラウ ンド		
ペンクロス 60% キングスタウン 40%	パロン 50% ジェームスタウン 20%	5) 暖地型草種を主体とした混播	
粘土地 不良地	マンハッタン 30%	ゴルフ場フェ アウェー 工場敷地 宅造緑化	バミューダグラス 20% カーベットグラス 30% ハイランド 20% ペンローン 30%
エクセーター 40% シーサイド 30% レッドトップ 30%	競技場		
2) ブルーグラス内の混播	ペンクロス 50% ハイライト 50%		
競技場(寒地) 運動場	パロン 30% フィルクキング 40% マンハッタン 30%	ゴルフ場ラ フ・環境保 全	バミューダグラス 40% レッドトップ 30% ハイライト 30%
ナゲット 50% パロン 50%	運動場		
公園(暖地)・ 学校	パロン 30% フィルクキング 40% マンハッタン 30%	西南暖地の グラウンド	バヒア 60% キクユ 40%
フィルクキング 60% パロン 40%	ゴルフ場フェ アウェー (ティ)		
工場・不良地	ナゲット 30% パロン 30% ペンローン 20% ハイライト 20%		
フィルクキング 60% ラフストークド メドウグラス 40%	3) ファインフェスク内の混播		
3) ファインフェスク内の混播	海辺・日蔭	暖地の公園・ 運動場	センチベッド 30% カーベット 20% マンハッタン 30% イラヒー 20%
ジェームスタウン 50% イラヒー 50%	ゴルフ場ラフ		
	メリオン 40% ペンローン 30% マンハッタン 30%		